

51. ビジネスに気象データを活用しましょう

目的・概要

近年のIoT、人工知能（AI）、ビッグデータ等に関する技術の発展により、幅広い産業において、データを収集・分析する基盤が整いつつあります。観光産業においても、気象予測に基づいて、変動する客数に応じた柔軟な価格設定やスタッフ配置を行うなど、気象データの活用により生産性の向上が見込まれます。

気象庁は、基盤的気象データのオープン化・高度化を進めるとともに、産学官が連携して気象ビジネスを推進するため設立された「気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）」を通じて、新たな気象ビジネスの創出に向けた取組を進めています。同コンソーシアムでは、気象データを活用したビジネスを推進するためセミナーや講習会を通じた人材育成をはじめ、先進的なビジネスモデルの創出や新しい気象情報の利活用を進めています。

基盤的な気象データのオープン化・高度化

1. 多数の気象データ(ビッグデータ)の提供

- ・アメダス、高層気象観測、天気予報、注意報・警報など、地点・地域の観測・予測データ
- ・衛星やレーダー等のメッシュ状の観測データ
- ・数値予報等のメッシュ状(3次元)の予測データ

2. 過去データのアーカイブ整備

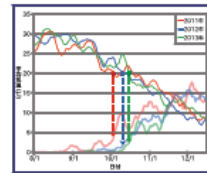
- ・過去の気象観測データのデジタル化

3. データ利用環境の充実

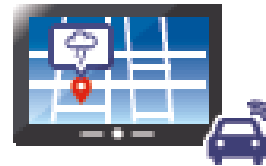
- ・インターネットを通じたデータ利用環境の充実(CSVデータのダウンロードサービスの拡充等)
- ・気象データの入手方法や解説資料、サンプルデータ、利活用事例等を掲載した気象データ高度利用ポータルサイトの充実

様々なデータとの組合せ

客数や商品の需要予測、
運行経路の選定等に活用



客数や商品と
気象データを比較し
需要を予測



地理データと重
ね合わせてカー
ナビに活用

気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)

先進的気象ビジネスモデルの創出

- 関連技術の進歩に応じた気象情報の利活用の促進
- 世界最高水準の技術の気象ビジネスへの展開

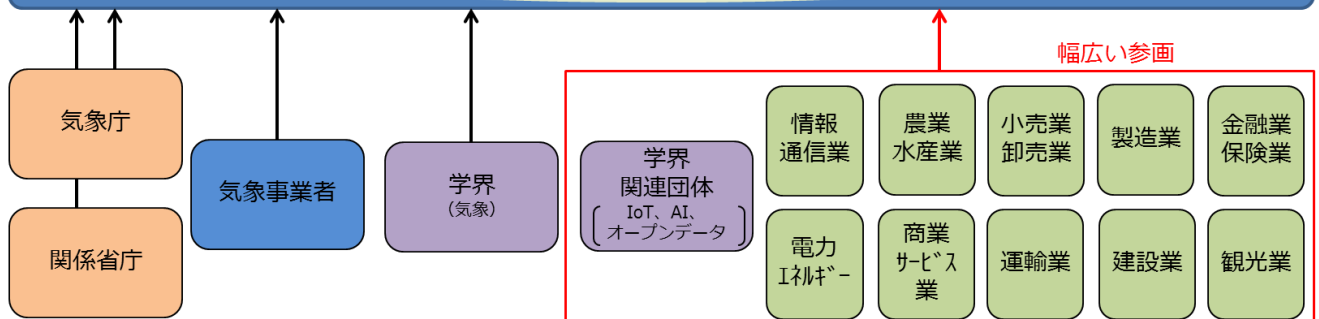
気象ビジネス推進の環境整備

- ユーザーとの対話を通じた継続的な情報改善
- 気象情報高度利用ビジネスに係る人材育成

気象ビジネスフォーラム

- 産学官関係者が一堂に会する対話の場
- 気象事業者と産業界のマッチング

産学官連携による気象ビジネスの共創



〇問い合わせ先 : 大阪管区气象台 業務課
電話 06-6949-6302 FAX 06-6949-6079